

平成30年度 教育活動に係る保護者評価（第1回）のご意見等について

「平成30年度 教育活動に係る保護者評価（第1回）」へのご協力ありがとうございます。ご提案やご意見等へ本校の考えをお伝えします。お寄せいただいたご意見は、スペースの関係で短くさせていただいたものがあります。評価「2」「1」の理由についてご記入いただいたものは基本的には掲載していませんが、学校全体に係わることは掲載させていただきました。個人情報保護のため、掲載を見合わせたものがあります。

項目等	保護者からのご提案やご意見等	学校として
学校が好き・教職員について	<ul style="list-style-type: none"> 勉強があまり好きではないようです。幼稚園では遊び中心だったので、それがぬけていないので遊びたいと思っているのだと思います。 子供によると、「学校は好きではなくて大好き」、「給食はおいしいではなくておいしすぎる」とのことです。楽しく学校生活を送っているようでありがたく思います。 いつもご指導ありがとうございます。お陰様で、子供が毎日楽しく登校しています。これからもよろしく願いいたします。 先生方やお友達のお陰で、楽しく登校できています。ありがとうございます。 いつもあたたかく見守ってくださり、ありがとうございます。 入学して3年間、担任はもちろん、担任してもらってない先生の話や校長先生の話も、家庭でよく話してくれます。そのたび、少人数のよさだなと感じ、先生と児童との距離が他校より近いのかなと感じています。 硬筆指導を丁寧にしていただき、心から感謝しています。ありがとうございます。友達が毎日楽しく通っているようです。先生にほめてもらおうと大喜びで頑張っています。先生がほめ上手なのでありがたいです。 担任の先生に子供のことをしっかり見ていただいていると感じます。 いつもあたたかく見守っていただきありがとうございます。 とても、親しみやすい先生が多く、いろいろと話をしやすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> チャイムや時間割での生活に、1年生のはじめは戸惑うことも考えられます。2学期以降は、特別なものと感じなくなります。私たちは子供たちがスムーズに学校生活を送れるよう丁寧な指導を心がけるようにしています。お困りなことがありましたら、担任や教育相談担当、生徒指導担当等、複数の窓口がありますのでご相談ください。 今年度の本校の教育理念は、「ふるさと明戸を愛し、自己の夢を掲げ、実現に向けて自らを高めようとする児童の育成」としています。保護者・地域の皆様とともに子供たちの成長を支援して参ります。
学校行事について	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の6送会、卒業式と先生方の愛情を感じる素敵な会と式でした。明小の温かい雰囲気を感じられる時間となりました。ありがとうございました。感謝を伝える場がないので書かせていただきました。 運動会の振替休業日は必要ですか。個人的な意見ですが、なくてもよいと思います。その分、学校があった方がよいと思います。 いつもよく見ていただき感謝しています。親善運動会の練習ですが、5年生も6年生と一緒に、練習が少しでもできたらいいなあと思います。先輩から学ぶこともありますし、前年度から自分の種目を決めることで、一年間準備ができます。ご検討をいただけると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事を通して、子供たちが表現力を伸ばしたり、友達の大切さを感じたりできるとよいと考えています。子供たちは、行事ごとに成長するとも言われます。励みになる言葉をありがとうございます。 お子さんが学校生活を心待ちにしてくれているようで、うれしく感じます。教職員の休日は法で定められているため、振替休業日は必要です。また、子供たちの健康面を考えますと、振替は必要であると感じています。 5年生は11月に行われる親善球技大会へ向け、放課後の練習を行います。まずは、バスケットボールに専念させたいと考えています。また、陸上練習は、6年生の意欲と技術の向上を最優先したいと考えています。 陸上の経験を積むとの視点から5年生の参加が可能か、ご提案は検討課題とさせていただきます。
学校施設について	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や学校の周りをきれいにしてくさり、ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童数減少で、児童への清掃分担はできないため、教職員が計画的に整備を行っています。学校運営協議会委員の皆様にも7月にご支援をいただいています。

項目等	保護者からのご提案やご意見等	学校として
学校公開について	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆、書きぞめ、作品展などの公開は、12:00～13:00の間も参観できると、昼休みにも行けるので、個人的には嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応可能なご要望にはお応えします。例えば、夏休み作品展の9/3と9/4の両日は、12:00～の公開としてお知らせしています。
情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観や不審者情報のメール配信がとても助かっています。手紙などしっかり確認していても忘れてしまっている事もあるので、これからもメール配信をお願いしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の連メル登録率は100%です。必要な連絡は連メルを連絡手段として優先して活用しています。機種及びアドレスを変更した際は、学校でも設定の変更が可能です。 ホームページに、お知らせを掲載する場合があります。
授業や学習について	<ul style="list-style-type: none"> いつも手厚い指導をありがとうございます。特別支援学級と親学級との交流は、心身ともに成長できる大切なものだと思います。これからも、積極的に実施していただきたいです。 特別支援学級と親学級の交流が今年度になって減ったということ聞き残念に思いました。交流を行わない理由が「授業の内容が難しい」「体育を一緒にやるのが危ない」という事だったらしいのがっかりしました。 人権集会などで、深谷市まごころ出張講座を利用して「認知症サポーター養成講座」を子供たちに受けさせたら、認知症について知り、地域との自発的なふれあいや、手助けをするための一歩目を踏み出せるのではないかと思います。熊谷市ではやっていると聞きました。 ノートを見ると、字の丁寧さやまとめ方から、意欲のなさを感じることがあります。お手数ですが、週一回程度ノートを集め、内容を評価をしていただけると、子供の意識・意欲が向上すると思います。 算数の授業で先生によってわかりづらいときがあるとっていました。 授業で説明する用語がわかりにくく、授業内容が伝わりにくいとのことです。内容は決して難しいわけではなく、言葉に惑わされて理解しにくいようです。「なんだ、そういうことか」にたどりつくのに、余計な時間を費やしているようです。「わかりにくいから嫌い」にならないようにしていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の交流の時間が、昨年度に比べて減っているわけではありません。私達の生活は、個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会をめざしています。小学校もその流れを汲んでいることは言うまでもありません。特別支援学級の児童が、通常学級の児童と共に学ぶことができるよう、保護者や児童の要望を尊重し、交流を図って参ります。 本校では4年生が総合で福祉を学習しています。様々なハンディがある方々などのように共生することが大切かを計画的に学んでいます。明戸地区の深緑苑との交流もこの単元で行っています。現時点では、時数的に、認知症についてを指導計画に盛り込むことは難しいと感じています。（「認知症サポーター養成講座」は、県が推進している講座で小4から受講が可能できるものです。） 各担任は、ノートやプリント、発言、ワークテスト等を計画的に評価手段として活用しています。ノートのまとめ方についても、手本となるものをクラスで紹介するなどし、意識啓発を図っています。ノートは学びの足跡となるものですので、大切に指導していきます。 わかりやすい授業となるように指導法の改善に努めます。なお、授業展開は、市教育委員会がモデルとして示している教科指導ベーシックに則り展開しています。 算数の基本的な学習過程は、問題の提示→課題の設定→見通しを立てる→自力解決→発表→練り上げ→まとめ→評価問題となっています。
体力向上について	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒の逆上がりができるまで指導して欲しかったです。卒業した姉は、最後までできませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童に、全ての学習内容を身につけてもらいたいと考えています。逆上がりについても同様で、本校では、毎年秋に、鉄棒教室を開催しています。県内6年生の逆上がりのできる児童の割合は約75%です。
給食について	<ul style="list-style-type: none"> カレーの時の定番のカリカリ揚げが大好きなので、家で作ってみますが、「ちょっと違う」と言われます。以前、レシピが給食便りに載っていたと記憶しています。HPや便りで紹介していただけるとありがたいです。 「評価は子供が絶対『4』（最上位）にしてね。」とっています。とってもおいしいそうです。 	<ul style="list-style-type: none"> ご要望がある方には、可能な限り、情報を提供します。また、ホームページで毎日の給食を紹介していますが、ここでも、レシピを紹介していきたいと考えています。 ありがたいです。とても励みになります。
保健について	<ul style="list-style-type: none"> 深谷市内の学校で、フッ素塗布をしてくれる学校があると聞きました。明戸小でも実施していただけるとありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口を行っている学校はあります。むし歯予防に有効であると聞いています。来年度から、フッ化物洗口を実施する方向で検討しています。

項目等	保護者からのご提案やご意見等	学校として
生徒指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供によっては、子供同士で仲良く遊べる子と遊べない子がいます。小さなからかいや意地悪が相手を傷つけてしまうこともあるかと思えます。 ・ 先生の叱り方が気になることがあります。「静かにしろ」「うるせー」などと、子供がおびえてしまいます。 ・ 子供同士のトラブルがあった時、一人ずつ話を聞き問題解決に努めていただいたことがあり、「先生が信じてくれた」と話していました。そんな対応をしてくださった先生をありがたく感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子供たちの特徴をつかみ、個に応じた指導を心がけています。明戸小の子は、よい子です。多くは、誰とでも仲良くできます。時には、トラブルが起きることはあります。その際、子供たちが自分たちで解決していけるかを、期待しながら見守ることもあります。トラブルを解決する力が高まると、将来、自分に降りかかってくる問題に対して、前向きに対応することができるようになります。 ・ イライラを子供たちへぶつけることは慎みます。ただ、緊急性を感じた時など、命令調の口調となることはあります。 ・ 担任が信頼されていることが伝わってきます。ありがとうございます。
登下校について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登校時、班の上の学年の子についていけず、上級生に急かされます。そのため、朝、ぐずり、さらに遅くなるが多々あります。一日の始まりを気持ちよく迎えさせてあげたいと思っています。班の保護者には話をし、協力いただいています。 ・ 子供は通学班の班長をしています。下級生が言うことを聞いてくれないとのことで、「先生に相談してごらん」と言い、後日、「どうだった?」と聞くと先生は言ってくたとのことですが、解決していないそうです。(下級生の保護者にも話したのですが) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学班等の問題は、まずは子供同士、次は保護者同士で解決を図っていただけるとよいです。それでも難しい場合は、担任や通学班担当へご相談いただければと思います。 ・ 通学班担当が通学班の班長さんに確認した時に、「大丈夫です」との返事があったので、解決済みと判断していました。確認が不十分だったと反省しています。その後、安全主任や通学班担当、学級担任が通学班を集めて指導しています。今後も、心配なことがありましたらご連絡をお願いします。
家庭学習あいさつ靴そろえ言葉遣いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭では、声を掛けてもなかなか靴そろえができないので、習慣化していけるように指導していただけたらと思います。あいさつも、促さないといけないので、自然とあいさつができるようにしていけたらと思います。 ・ 一緒に歩いて登校していますが、旗振りの保護者の方やスクールガードの方にあいさつされてもいつも小さい声で返しています。他の班を見ても元気にあいさつできているのはごく一部です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつと靴そろえは、年間の重点目標として取り組んでいます。どちらの取組も、学校と家庭が同じスタンスで取り組みたいと考えています。 ・ 地域の方々や保護者にも元気な明るい声であいさつができるように学校としても取り組んでいます。 ・ あいさつの仕方は、通学班の班長の影響力が大きいです。班長のあいさつが上手ですと班員も上手になるとのご意見をいただいています。子供たち自身が、多くの方々に育てていただいている意識を持てるようご協力をお願いします。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちへの手厚い指導ありがとうございます。教科書を学校へ置けるようにしてもらいたいです。フラフラしながら登校しています。今は、小学生でも腰痛が多いようでとても心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月曜の登校時や金曜日の下校時の荷物は多いのは事実です。文部科学省は、いわゆる「置き勉」について、「児童の負担とならないよう、各学校に柔軟に対応してほしい」と通知すると、9月3日の報道にありました。本校としては、教科書やノートは持ち帰って欲しいとの思いがあります。今後の検討課題とさせていただきます。